

第10回熊本県腎不全看護研究会
アンケート集計結果

80名中75名アンケート回収

日時:2012年2月12日(日)9:45～

場所:済生会熊本病院 外来がん治療センター
4F コンGRESルーム

【情報提供】9:45～

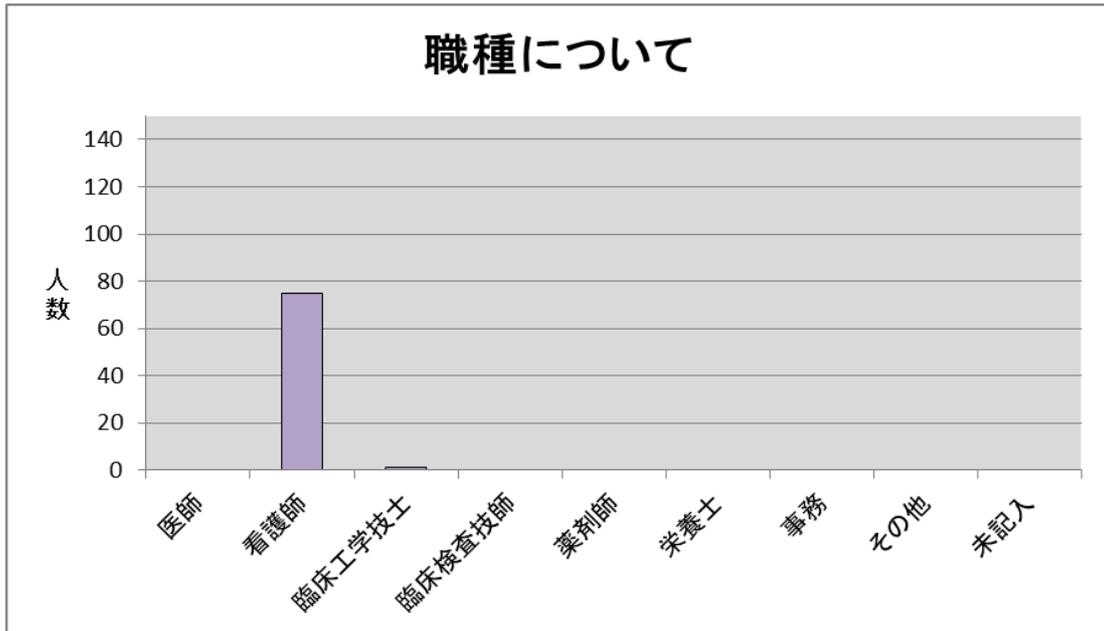
【特別講演】 10:00～12:00

『透析を受けている認知症患者の看護』

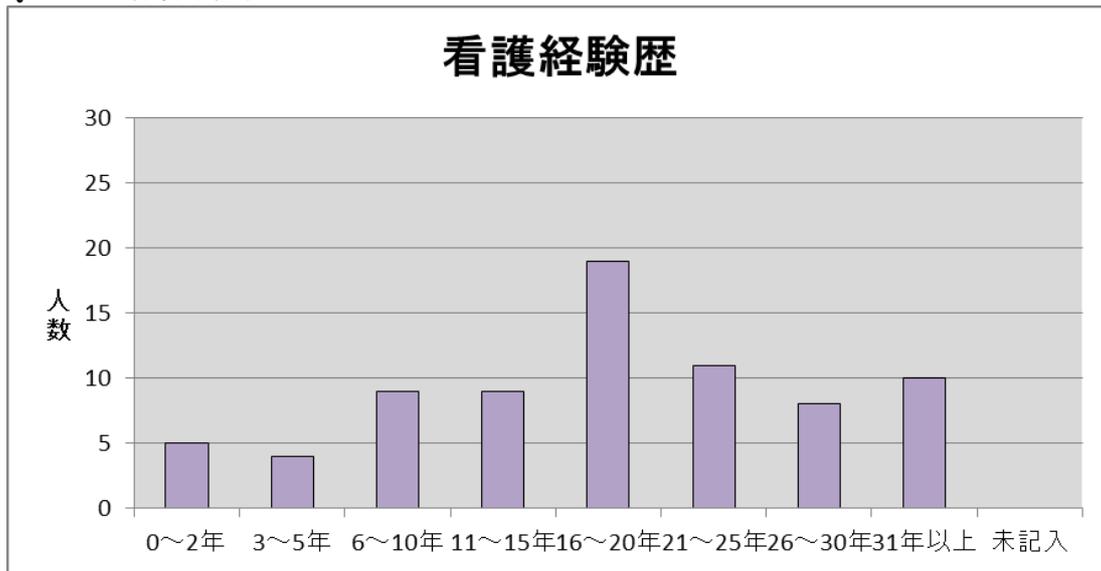
熊本大学大学院 生命科学研究部
環境社会医学部門看護学講座
教授 宇佐美 しおり 先生

研究会アンケート結果

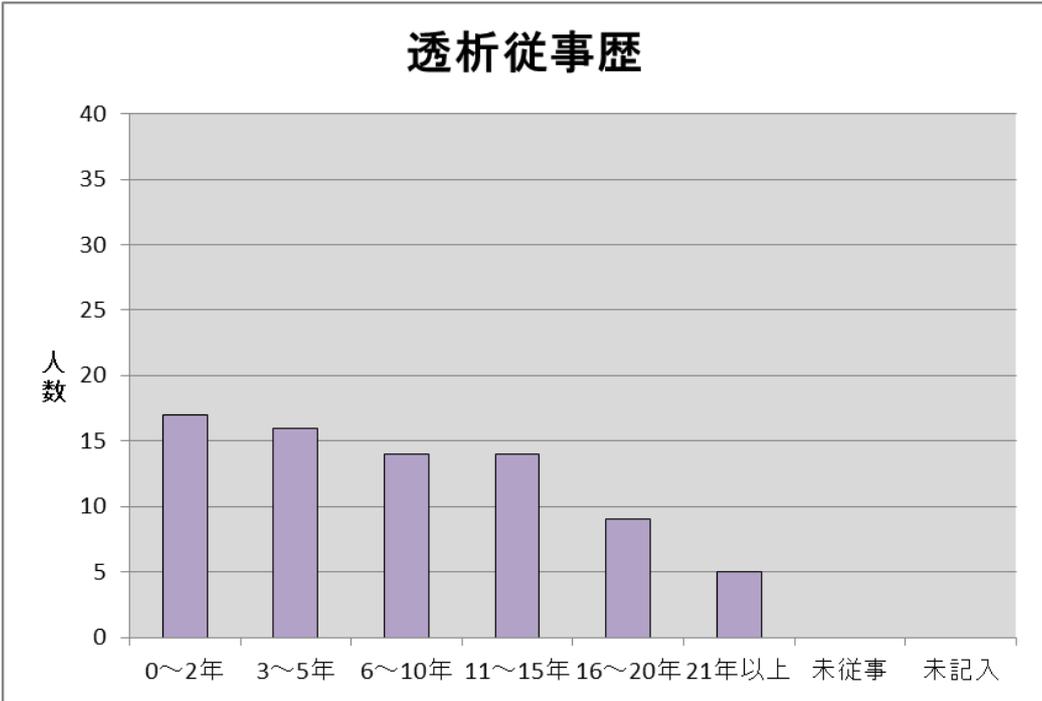
Q1:職種について



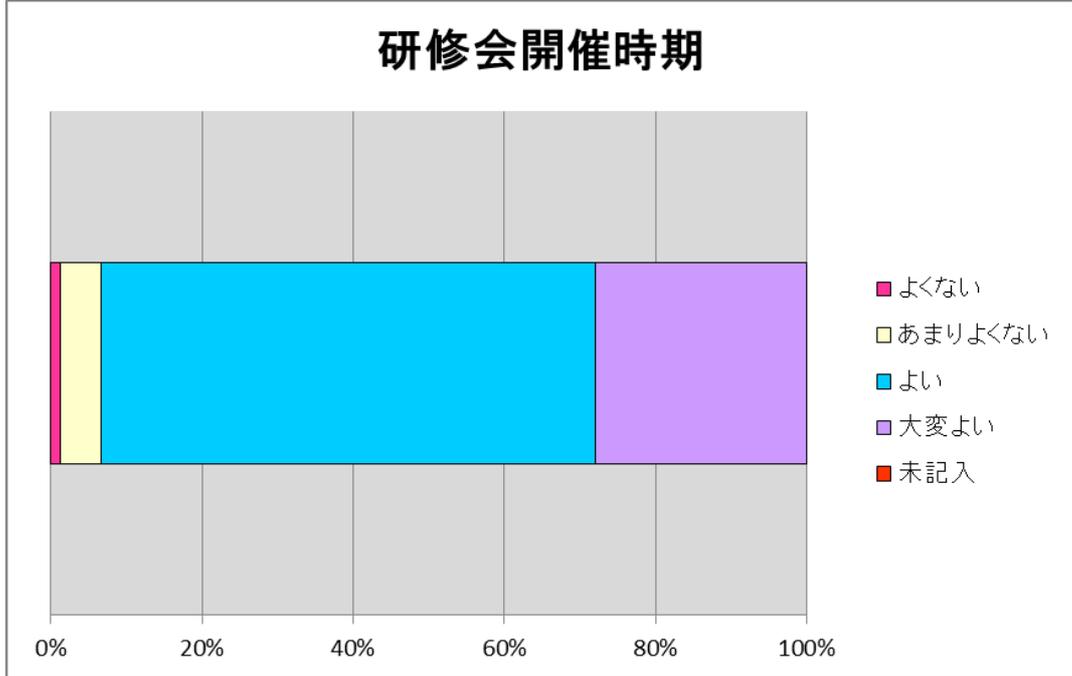
Q1-* : 看護師経験



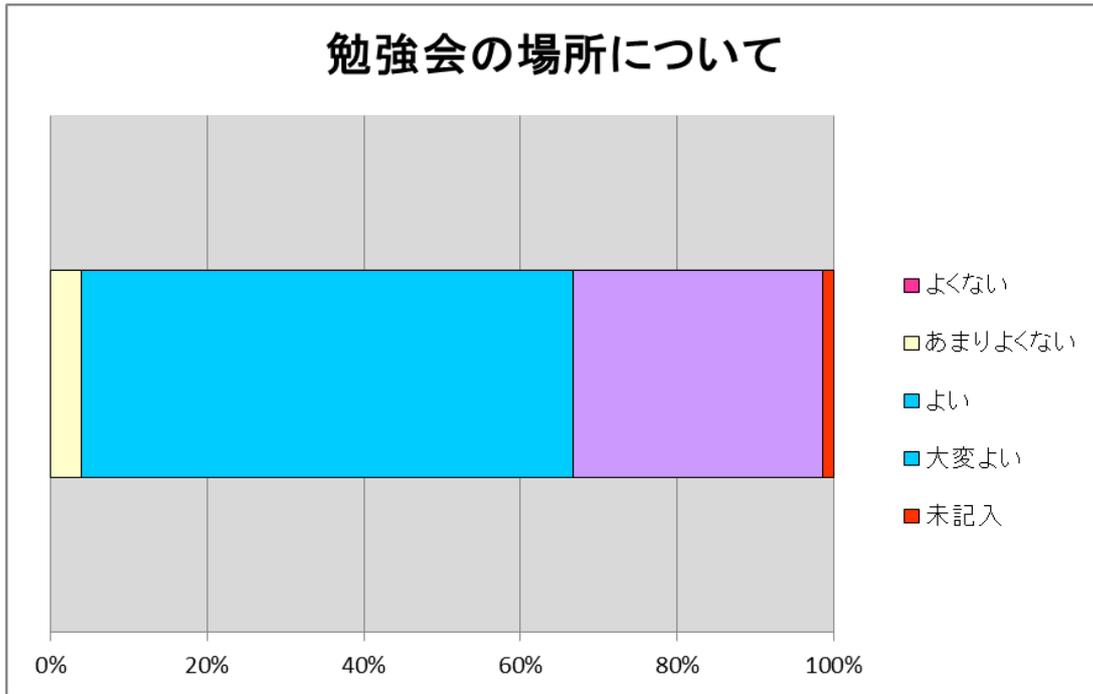
Q2 : 透析従事歴



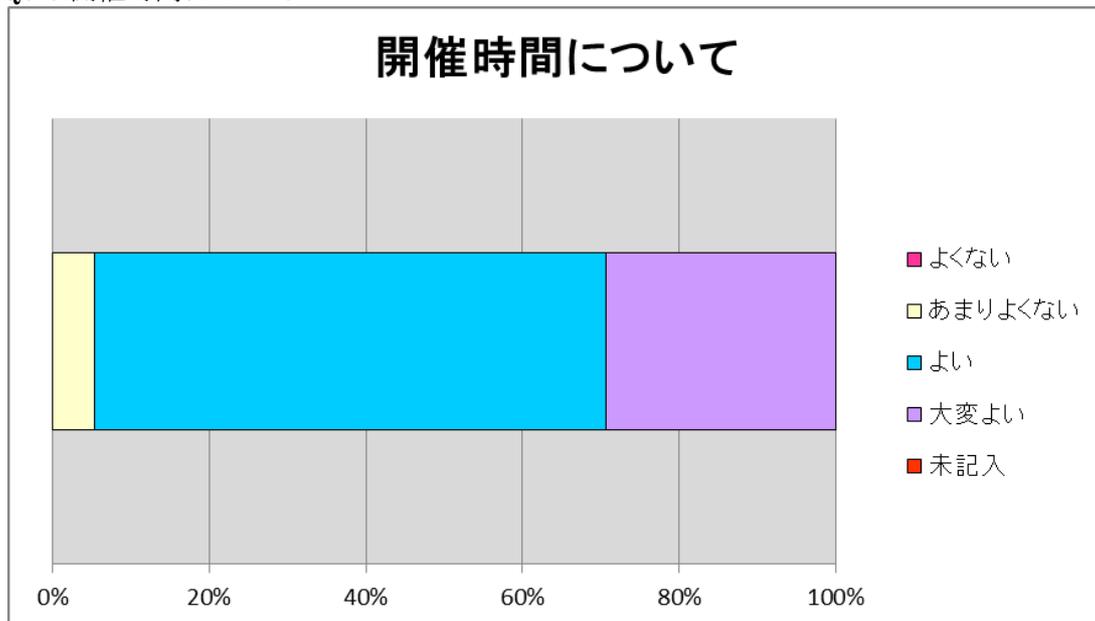
Q3-1：研修会の開催時期



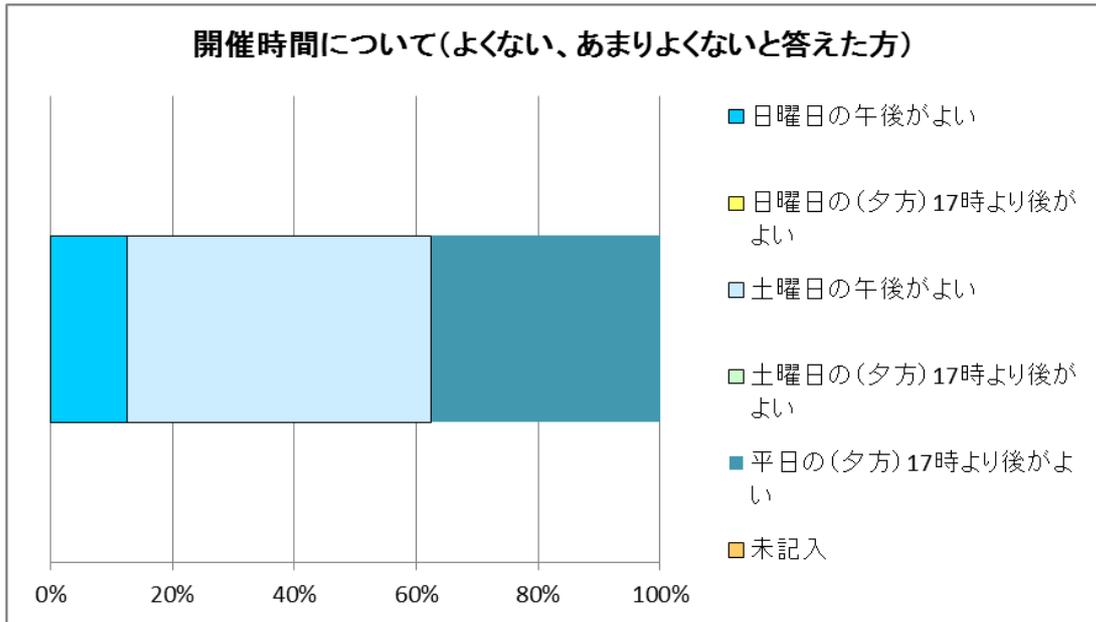
Q3-2:場所について



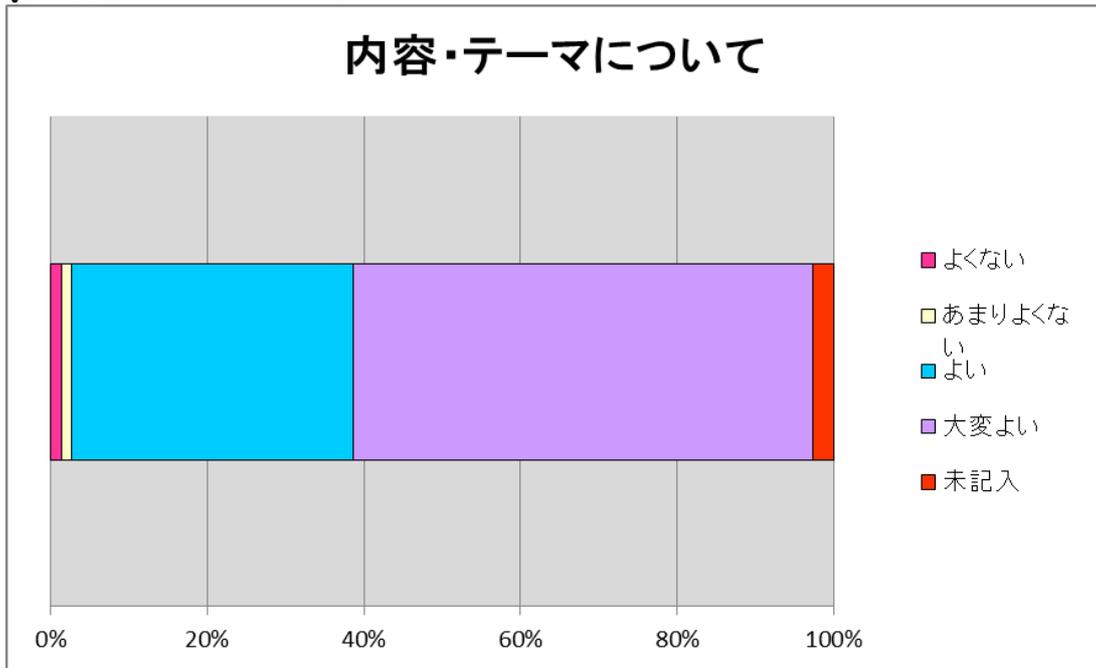
Q3-3:開催時間について



3-3 : 開催時間について (よくない、あまりよくない)

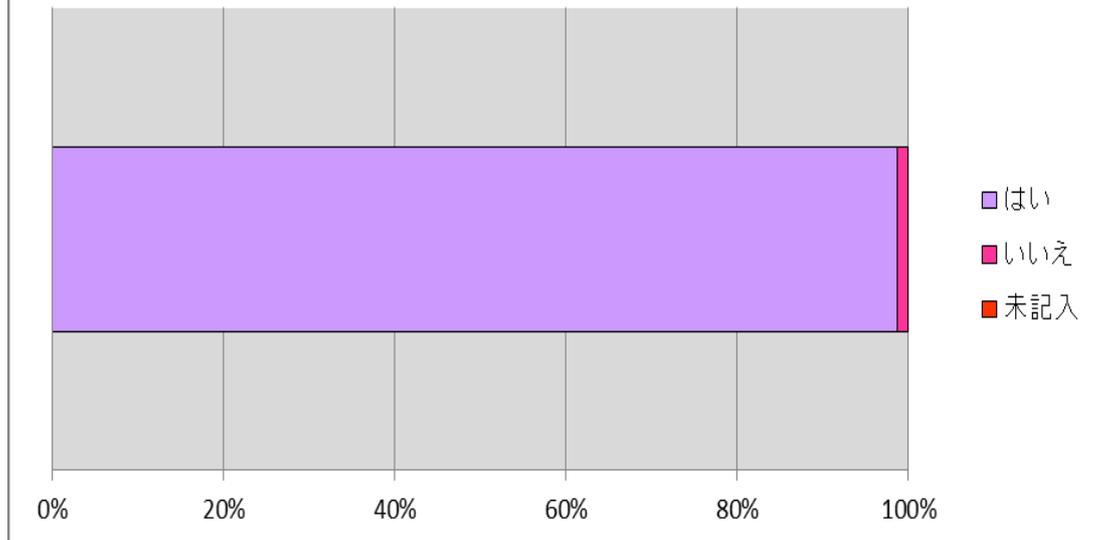


Q3-4:内容・テーマについて



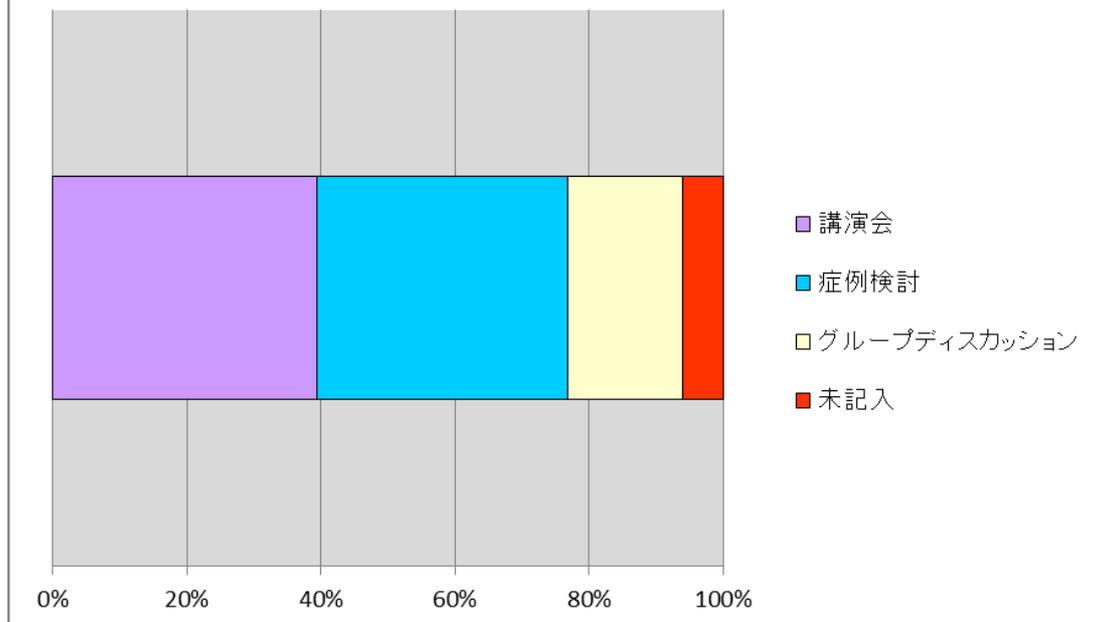
Q4 : 今後ご参加いただけますか？

今後勉強会を開催するとしたら参加されますか

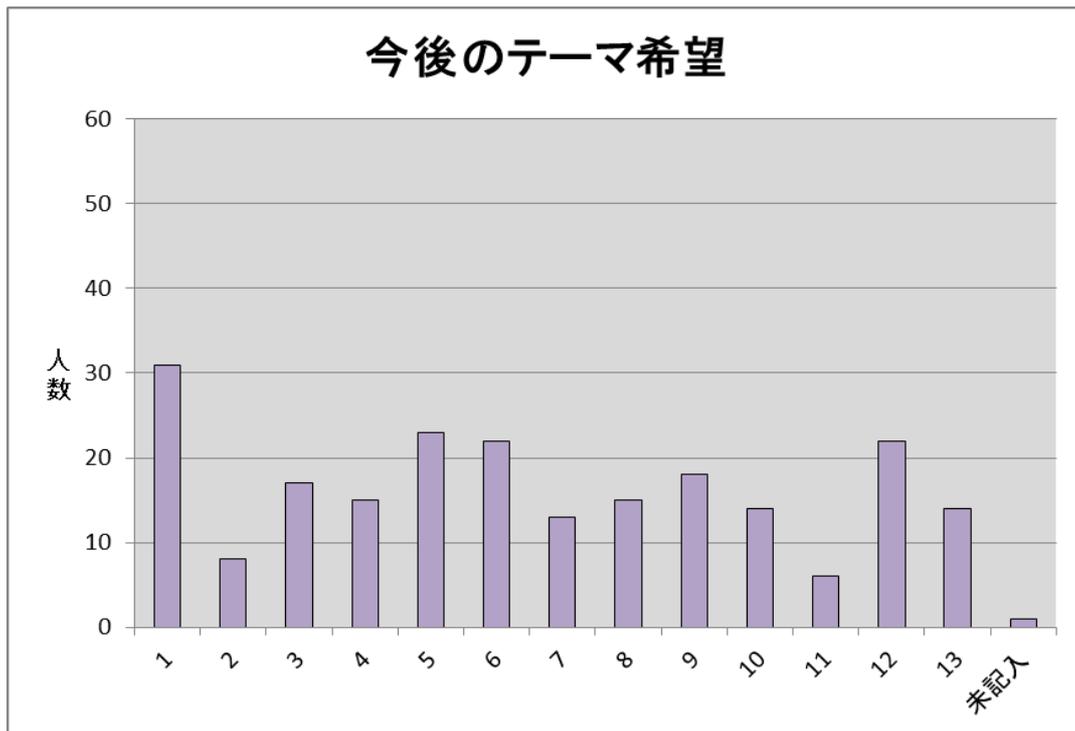


Q5:開催するとすれば、どのような方法を望まれますか？

今後研究会を開催するとしたらどのような開催形式を望まれますか



Q6:今後取り上げてほしいテーマがあれば御記入ください。



- ①患者教育、患者指導（自己管理）
- ②糖尿病、糖尿病性腎症
- ③栄養指導、食事指導（実際の指導について）、食事管理
- ④記録、看護記録
- ⑤災害時訓練（Nsの対応）、災害対策
- ⑥感染、透析室の感染予防
- ⑦認知症対応、認知症患者とのかかわり方
- ⑧透析中のリスク→症例、対策など
- ⑨医療安全、リスマネジメント、医療事故（トラブル、記録）
- ⑩長期留置カテーテルについて
- ⑪腹膜透析、看護について
- ⑫スタッフと患者のコミュニケーションの取り方
- ⑬コーチング
- ⑭未記入

Q7:上記以外で取り上げてほしいテーマ等あれば記入ください。

フットケア、タッチコミュニケーションについて
フットケア技術
透析室での電子カルテ導入について
シャント管理
社会資源について（透析、高齢患者が活用できるもの）、Ns・ケアマネ・訪問Ns・保健師などの役割連携の仕方について

医療者として地域への関わりをどうするか、家族への介入、多剤耐性緑膿菌について (MRDS?)
プリセプター研修、グループワークにて
クレーム対応、新人教育、ストレスケア
コンコーディネーション
口腔内のトラブルや歯科に関すること

Q8:その他、意見、要望、改善点等ありましたらお聞かせください。

症例を事前に配布しておき検討してくる。結果がどうなるのか知りたい
GWの時間が足りなかった。30分ではなすのは難しいと感じた
本日の形式は症例検討があってわかりやすかった (先生のコメント)
部屋が狭かった・暖房が効きすぎていた
症例検討という形での勉強会とても勉強になりました
今後もこのような形での研修会があれば参加したいと思います
事例が多すぎて検討する時間が少なかったので2~3個にして話し合った方がよいと思う
資料 (全事例) を前もってもらっていただければよかった
初めてのグループディスカッションでしたが事例を通して他の施設の方々と意見の交換ができることはとてもよい刺激になりました
改めて自分の勉強不足が分かりました
グループワークと解説でとても無理だと思っていた症例への解決への糸口が見えてきてまた頑張っていこうと思えました
認知症についての病理の知識を深めることができありがとうございました
他グループの事例について詳しく書いてあるがもっとまとめたほうが分かりやすいと感じた
症例や先生の講義、他院の話や皆さんの意見を聞きとても勉強になりました
自分たちの出来ることや家族への支援を考えて行きたい、ありがとうございました
経験年数が浅いため今回の研修・事例検討は参考になりました
今後もこのような研修があれば是非参加したいと思います、ありがとうございました
グループディスカッションの時間がもう少し長いほうが良かった
他施設の意見が聞けて良かった
資料を持って帰れないのはなぜか
全体的に時間がみじかいように思われた
解りやすくとてもよかった
認知症の患者さんとのコミュニケーションに活用していきたい
6グループの症例は長く読み込むのが難しかった。短時間だったので問題抽出する時間までなかった。また、問題解決、対策立案、結果まで記入してあり何を話し合いたいのかわかりづらかった
グループディスカッションの時間がもう少し長かったら症例以外の施設の困った症例の話や更にディスカッションする時間が持ててもっと有意義だったと思う
事例紹介の書き方を統一、文章をもっと簡単に書くとよい (ダラダラ書かない) 要点をまとめる
司会は、どういうことについて話し合うかどんな意見を出したらいいのか説明をしっかりとってもらえると、グループワークがしやすく意見がもっと出ると思います
司会進行、まとめをしっかりとしてほしい
とても興味深く透析看護のみではなく、看護として生かしていける内容でした

開催時期：インフルエンザが流行っているのであまり長く居たくない
開催時間：土曜日の午前
開催時間：たまには④⑤もよいのでは

「研究会世話人よりコメント」

事例の事前配布の希望や資料として持ち帰りを希望される声がありましたが、今回は当研究会初めての事例検討で、個人情報保護の観点からそれらを遠慮させて頂きました。今後は皆様からのアンケートを踏まえ、事例の事前配布や持ち帰り、症例を減らすなどを前向きに検討させて頂きたいと思います。アンケートのご協力、貴重なご意見ありがとうございました。